
 総 説

ニュージーランドのサーマリズム

Thermalism in New Zealand

J.G. Jones, M.D.

 Director of Rheumatology and Rehabilitation Services
 Queen Elizabeth Hospital Rotorua, New Zealand

堀内 公子 訳

ニュージーランドは二つの島から成り、日本の国土のほぼ3/4、英連邦よりやや広い面積である。しかしながらこれらの人口密度の高い島々と違って、ニュージーランドの人口はたった325万人にすぎない。人間がこの国にやって来たのは比較的最近であり、地質学的な意味でもまた若い国である。その地質学的な若さとは相当な地熱資源をもっていることを意味し、人が最近定住したばかりなので、日本やヨーロッパ諸国のように温泉治療を目的としてこの資源を用いる長い伝統がないことを意味している。

地熱資源は二つの理由からニュージーランドにとって経済的に重要である。まず第一に大きなエネルギー源であること、二つの地熱発電所で生産された電気は国の送電網に送られ、数ヶ所の製作所では国の大きな森林資源から木材を作る作業が地熱エネルギーで運転されている。地熱地帯に建設されたロトルアRotoruaやタウポTaupoのような町では、多くの個人の住宅や公共の建物が地熱エネルギーで暖房されている。しかし恐らくより重要なことは、自然のままの地熱地帯が沢山の観光客を呼びよせていることであろう。観光事業はニュージーランドの主要産業の一つで、毎年ニュージーランドを訪れる70万人の観光客の44%が間欠泉や泥地獄を見るためにロトルア地方へやって来る。

地熱活動地帯の大部分は北島の中央及び北東部に存在し、ここでは一連の活火山、間欠泉、噴気孔、泥地獄、蒸気孔等が景観の一部をなしている。もちろんこの地域には多くの温泉があり非常に有名であるが、ニュージーランドのどこよりも温泉に富んでいることはそれほど知られていない。この国全体としては約100の温泉地が報告されているが、恐らくその他に記録されていないものが沢山あるだろう。

ニュージーランドは美しさとコントラストの良い景色が有名であり、きわめて変わった環境にある温泉風景を楽しむことが出来る。南島にあるマルリアMaruiaの雪をかぶった山岳地帯の森林から亜熱帯のコロマンデルCoromandel半島の陽光まぶしい海岸までの広い景色の幅、及びトンガリロTongariro 国立公園の火山の半登頂部から、エレガンスさを失いつつあるエドワード王朝風ロトルアに至るまでである。

このような対照的な環境のあることに加えてニュージーランドの鉱泉水の化学組成は多岐にわたっている(総説3参照)。

Dr. Hope Lewis は1905年にニュージーランドについてのCook's Guideに次のように書いている。

“ニュージーランドの温泉は成分が変化に富み、亜鉛メッキ製鉄バケツを溶かすほど強いものから、毎日1ガロンづつ飲んでも全く害なく飲めるきわめて温和で利尿的な塩類泉まである¹⁾。”

研究が進んでDr. Hope Lewisの記述が確められた。塩化物、硫酸塩、炭酸塩を含むものはいくらでもあり、鉄、ほう素、珪素、水銀、ヨウ素、マグネシウム等の元素に富む温泉さえある。

背景に以上の情報があるので、筆者はニュージーランドにおける健康資源としての天然鉱泉利用の歴史の跡をたどってみたい。

ニュージーランドは約600年前マオリ族が、はるか遠方のハワイキHawaiikiからカヌーでやって来る迄は無人であったと云われている。この伝説的な地は恐らくハワイであろう。まず海岸の地域に到着したマオリ族は人数が増えるにつれて、ゴツゴツしてやぶにおおわれた奥地へと引き移っていった。およそ1450年頃に、彼等はロトルアおよびタウポ周辺の地熱地域の中央に定植した。彼等は温泉が気に入り、入浴、料理、洗濯、暖房に利用したと伝えられる。

マオリ族は野生の植物、かん木、樹木、木の根等を病気に用いたが、地方によっては今だに伝説的なマオリの薬療法がおこなわれている。リュウマチの治療には温水プールの治療効果を利用した(写真1)。硫化鉄が飽和している黒いロトルアの泥は、陽やけややけどの処置に有効なことがわかった。1800年頃最初のヨーロッパからの移住者がやって来て、1840年にニュージーランドは英国植民地となった。1852年に最初のヨーロッパ移民の一人である海軍軍医John Jolliffeがロトルアを訪れ、日記に次のように記している。



写真1 トカヌTokaanuの天然温泉プールにおけるマオリ族の入浴(1886)

「ニュージーランド人はリュウマチやその他の病気に蒸気浴やむし風呂を用いている。熱い石の上にしめった沢山の葉っぱをならべ、その上に患者が腰かけて毛布でおおうとすぐに濃い暖かい芳香性の水蒸気が立ちのぼり、この蒸気が患者に最も有効なのである。」

鉱泉の治療効果の評判が高まるとヨーロッパからの訪問客が増加し、彼等は道路が悪く設備も不足しているにもかかわらずロトルアへ水浴びにやって来た。彼等は到着すると乗って来た馬をそばの立ち木につなぎ、テントを張って直ちに温泉やプールにつかった。

1880年代において、当時の人口は50万人にすぎなかったが、政府は外貨獲得の方法をさがした。政府観光局はヨーロッパの温泉町のブームにならぬ、ニュージーランドの鉱泉水資源を開発し温泉として利用することに決めた。そうすれば人々はオーストラリア、インドそしてヨーロッパからさえも、入湯のために大挙してこのセンターへやって来るだろうと予想した。

そこで三つの温泉町、即ち北島にはロトルアとテ・アロハTe Aroha、南島にはハンマーHanmer温泉が建設された。入浴施設、ホテル、公園が造られ、貧しい患者のためのサナトリウムがハンマーとロトルアに建てられた。当時ニュージーランドには医師はいなかった。人々は開拓者生活の急場をしのぐのに全精力をついやしていた。1904年政府は政府認定温泉療法医の地位を定め、英国Bathで修業したDr. Arthur Wohlmannを指名した。彼の指示に従いロトルアに国立温泉施設が建設され、第一次世界大戦の勃発迄繁栄した(写真2と3)。1920年にDr. Wohlmannは帰国するとき250万以上の治療用風呂を与え得たと報告できた³⁾。しかし戦争で出費がかさむ上に維



写真2 ロトルアのエドワード王朝風入浴施設
芝生庭園では今でもクローケーが行われている。
(ロトルアパースハウス博物館)



写真3 ロトルアにおける温泉治療(1905)
左手の男性が灌注器を持っているのがわかる。
右にあるのはトルコ風呂。(鉄道部門アルバム,
アレクサンダー・ターンブル図書館)

特に非常にお金がかかるため、政府は温泉への投資をとりやめにした。これがニュージーランドの温泉の衰退のはじまりである。その後数年が過ぎると観光局は彼等の温泉町を無視し、魚釣りや狩猟などのレジャーをすいせんした。建物は手入れされずに徐々にいたんでいき温泉治療への興味も失われて来た。

しかしながら別の政府機関である健康局にはロトルアとハンマー温泉のサナトリウムを管理する責任があった。ハンマー温泉のサナトリウムは1914年に焼失し、軍の病院に模様がえした。ここは現在では国営のアルコール中毒者センターであるが鉱泉を治療に用いてはいない。ロトルアのサナトリウムが全面的修理を必要とするきわめて情けない状態にあった時、第二次世界大戦という運命にまきこまれた。多くの兵士達が戦場から傷つき戻って来てリハビリテーションが必要になったが、ロトルアの古い温泉町よりここでリハビリを行う方がよかった。ロトルアに新しい病院が建てられ、鉱泉は軍のリハビリテーションプログラムの重要な部分を占めた(写真4)。やがて世界に再び平和が訪れた。戦



写真4 第二次世界大戦(1945)より戻ってリハビリテーション中の職員とロトルア入浴施設
クインエリザベス病院は軍隊のリハビリテーション施設として建設され、戦後はリウマチ病の国立センターとなった。
(ロトルアパースハウス博物館)

後約2年たって政府はロトルアの病院がからっぽであることに気付いた。そしてここはリウマチ病患者の国立病院に指定され、当時の英国の女王エリザベス、エリザベス二世の母君にちなんでクインエリザベス病院と命名された。初めの頃患者は国営入浴施設の中にある近くの風呂まで行っていたが、1968年に新しい入浴施設がクインエリザベス病院につくられた。現在でも引き続き使用されている。

現在ニュージーランドにおいてクインエリザベス病院が、医者の監督の下で入浴治療をおこなっている唯一の施設である為、筆者はクインエリザベス病院について少し詳しく述べたい。

この病院はベッド数100床でリウマチの患者のみを治療している。この施設は全てのタイプのリウマチ病をとり扱うことになっているが、慢性リウマチ性rheumatoidあるいは骨関節

炎osteoarthritisで苦しんでいる患者がほとんどである。患者は治療のため全ニュージーランドからやって来た人達で、彼等は一般医又は専門医の求めにより入院を認められている。ニュージーランド人は無料だが、オーストラリア又は太平洋の島々から来た患者は有料である。病院の近くに沢山あるホテルやモーテルの一つに泊まって外来患者として治療を受ける者もいくらかいるが、ほとんどの患者は約3～4週間の入院を許可される。各患者には個人用に調整されたプログラムがあたえられる。それには鉱泉、治療が含まれるとともに、物理療法、作業療法、投薬、外科手術、患者自身の状態についての指導カウンセリングなどが入っており、ロトルアの主たるタイプの二つの鉱泉水が用いられている。弛緩効果のあるRachel泉は含硅酸塩化物泉で、リウマチ性関節炎rheumatoid arthritisの早朝のこわばりに特に有効である。Priest泉は強い酸性硫酸塩泉で刺げき作用があり乾癬psoriasisに非常によく効くことがある。これらは市の共同浴泉でおこなわれている。Rachel泉は伝統的にエクスマッサージAix massageと呼ばれる治療に用いられているが、正確にはヴィシマッサージVichy massageとよぶべきもの(写真5)である。この地方の火山性軽石も用いられている。泥風呂にRachel泉でわり、にかわのような状態になったら、大きな関節をあたためる為の湿布を作る。ファンゴ治療はロトルア温泉の治療にはない。慢性関節炎の沢山の患者が鉱泉水治療を受けにクインエリザベス病院にやって来るが、この治療は全身治療を目的とした伝統的な温泉治療法の専門分野総合プログラムの一部分にすぎない。

病院には三人の客員整形外科医が居り、接合部の交換や最近モダン化した手術室で他の関節炎の手術を行っている。近くのロトルア公立病院と密接な関係があるが、むこうは繁盛している300床の一般病院である。ひどく孤立した他の温泉施設とちがって、クインエリザベス病院は他の分野の専門医を診察にあてることもできるし、病理学研究所とも密接につながっている。国際温泉センターとしてニュージーランドを発展せしめようとする1880～1910年迄の政府の意図にも拘らず、ニュージーランドの医者は中部ヨーロッパや日本で行なわれているような温泉治療法をおこなってはいない。

これには3つの理由がある。その第一はニュージーランドに人間がやって来たのはつい最近であり、日本やヨーロッパの国々の温泉治療の長い伝統がニュージーランドに欠けていたことであ

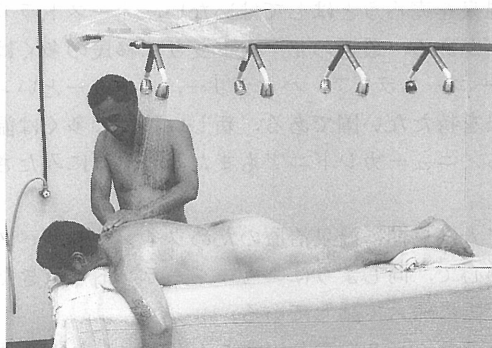


写真5 クインエリザベス病院(1989)

Rachel泉を用いたエクスマッサージ、ニュージーランドではエクスマッサージと呼ばれているが、この方法は正確にはヴィシマッサージとよぶべきものである。



写真6 クインエリザベス病院(1989)

熱泥(軽石とRachel泉を含む)をタオルにつつんで患部の関節を湿布する。

(Ric Buchanan)

る。第二に移住者の多くが温泉治療がすでに流行おくれになっている英国からやって来たこと。第三にニュージーランド医学は英国医学に確固たる基礎を置いていることである。1875年デュネディンDunedinにニュージーランドの最初の医学校が設立されて以来、この国の医者達は英国の病院で2～3年卒業研修を受けていた。今世紀の英国医学の大部分は医療技術への科学的原理の応用を重視し、病気の治療に大きな進歩をもたらした。そのため医者達は温泉治療学の重要な主旨である全身的な治療を否定すると云う結果になった。母国に医学的伝統のないニュージーランドの医師達はすみやかにこの見解を採り入れた。その結果はニュージーランドの初期(に盛えた)温泉の衰微にかなりの影響を及ぼした。

最近になって患者は純粋な科学的なアプローチに不満をもらし、英国やニュージーランドにおけるいわゆる関節炎のひざarthritic kneeあるいは痛風性の筋瘤gouty tophusより、全身的な取り扱いの重要性をよこんで再び強調し始めている。ニュージーランドの人々は医学的事柄について知られるようになり、多くの患者は今や自分達の病気の管理に関する決定に参加することを望んだ。薬の副作用の心配が増加すると、多くの患者達は自然な形での治療により興味を示した。

ニュージーランドの医学専門家達がほとんど温泉治療に関心がないとは云え、温泉プールに入ることは多くのニュージーランド人の生活方式の一部をなしている。温泉の近くのホテル、モーター、住宅の多くは自分の天然鉱泉水プールを持っている。ニュージーランドの他の地域の温泉プールは水道水にミネラルを添加したりしなかったりして用いるのが、多くの大きな家やモーター、ホテルの普遍的な特長である。一方では関節炎で苦しんでいる患者が多種にわたる天然の鉱泉水が有益な効果のあることを確信しながら、他方では健康なニュージーランド人が休養と至福を味わうために、これらのプールを使用している。

家又はホテルの個人風呂に加えて、ニュージーランド人の多くは100はゆうにこえる戸外の温泉を訪れる。しかしそれらの大部分は公営のプールでそこでは家族ぐるみ戸外の環境にひたってリラックスできる。大きな温泉のある所には常にホテルや駐車場があって、人々はそこに宿泊出来る。温泉医学がさかんな皆様の場合とことなり一般のニュージーランド人は温泉治療について深い哲学的信念をもってはいないようである。しかしながらあたたかい温泉に入ることは楽しいリクリエーション活動の一つとしてみられ、ニュージーランド人の生活の一部として受けいれられている。

近年、観光業者は健康資源として海外へ国内の温泉を売ろうとはしてはいない。オーストラリアには大きな有力なユーザーになりそうなグループがある。最近のオーストラリア移民の多くは温泉治療が生活の一部となっているポーランド、ユーゴスラビア、ハンガリー、イタリーといった国々から来ているが、オーストラリアは現在温泉を持たない国である。新しい移民の多くは温泉に入りヨーロッパやイスラエルに旅行している。ニューカレドニアもまた温泉治療にみだされぬ要求をいっているもう一つの国である。

現在少数のオーストラリア人とニューカレドニア人は夏期に温泉治療のためクインエリザベス病院を訪れている。彼等は自分達の治療に非常に熱心で、同じようにニュージーランドへ行きたいと思っている沢山の友人達に受けた治療について国に帰って話している。

最近政府の政策に現われた変化は、今や病院はそのサービスを売り出すことが考えられ、治療にやって来る患者の数の増加が期待出来ると考えている。

日本とニュージーランドは年々お互いに密接になって来ており、現在恐らく最も重要な温泉治療学的発展は、ニュージーランドに日本風の温泉センターを作ることに、二つの日本企業が興味を示していることである。現在まだ話し合いは進行中であるが、我々はこの計画の結実を祈って

いる。より沢山の人々が鉱泉の恩恵を受けられるようになり、温泉に他国の利用者のいることは、温泉治療学が世界のどこかで一つの重要な治療法として認められていることをニュージーランド人や健康当局に示すことになるだろう。

まとめてみると、ニュージーランドは大温泉治療国の一つではなく、主に休養を目的として用いてきた温泉に恵まれた国である。近年全身的医術が再認識されて来たので、ニュージーランド人も将来温泉を健康資源としてもっと利用してくれるよう願っている。そして又オーストラリア、ニューカレドニア、そして日本からの沢山の観光客が、温泉の恩恵に浴するためにとって来ることを期待している。

謝 辞

本論文の作成にあたり下記の方々及び組織の援助によること多大であり、ここに記して謝意を捧げたい。

Ms Paula Savage of the Rotorua Bathhouse Museum, Dr Peter Wood of the Department of Scientific and Industrial Research, Mr Graeme Edmond, Woollrest International Ltd and Tsumura Ltd P.L.C.

なお、温泉に関する多くの情報を下記の本より得た。

“Taking the Waters. Early Spas in New Zealand” by Ian Rockell, Government Printing Office, Wellington, New Zealand 1986.

また原稿作成の労につき、また素晴らしい写真を借用したことにつき、下記お二人のそれぞれに感謝の意を表したい。

Mrs. Ann Birch and Mr. Ric Buchanan.

References

- 1) Lewis T. Hope. “The Thermal Spas of New Zealand” in Cook’s New Zealand Duide, 5th edition 1905.
- 2) Jolliffe J. Diary 1852.
- 3) Wohlmann Arthur S. Mineral Waters and Spas of New Zealand. Govt. Printer, 1914.

【ま と め】

ニュージーランドは多種の化学組成の温泉に富み、1300年頃にマオリ族がたどり着くまでは無人であった。彼等は温泉を入浴、暖房、医療の目的で利用した。1800年代の半ばにヨーロッパの勢力が及び英国植民地となった。20世紀に入って時の政府は温泉をヨーロッパ風に仕立てて利用することを決定した。1910年当時は局所的には非常に流行したが、1930年代に英国の医療制度が温泉に反対したため衰微した。今日ではクインエリザベス病院のみで専門医が治療に温泉水と軽石を用いてリウマチ病の処置をおこなっている。ニュージーランド人は楽しみのために温泉に入っているが、熱資源は国家にとってエネルギーの供給と旅行者の為の観光資源としてもっとも重要である。

ニュージーランドは日本観光客に評判のよい目的地である。ニュージーランドに、日本風温泉センター設立の展望は、国に温泉が温泉治療及び入浴利用の面で将来発展するだろうとの希望をもたらした。